



～若き心 集まるところ～ No.5

夏休み前特別号

全ての台中生の『心の笑顔』と『成長』のために

校長 力石 裕司

長い夏休みが始まります！9月には成長した姿での再会を楽しみにしています！



生徒も先生方も、4月から今日まで走り続けてきました！明日から暦の関係で44日間の長い夏休みが始まります。この間、部活動等で会う生徒以外は、私たちが見守ることはできません。海、川、プール等での水難事故、交通事故、様々なトラブル、思春期だからこそ悩み・・・ご家庭での注意や言葉かけ、見守りなど、全ての生徒が大きく成長した姿で夏休み明けを迎えられるよう、ご協力をお願いします！全校集会では次のような話をしました。

4月から3ヶ月半の学校生活が終わります。入学式・始業式から今日まで、普段の授業、自然観察、野外活動、修学旅行、そして体育大会や部活の夏の大会と、ここにいる仲間と様々なことを経験してきました。4月から今日まで、周りの人の「良さ」や「いいところ」を見つけることができましたか？また、新たな自分や、自分の良さや強みを発見することはできましたか？欠点がない人などいないように、いいところがない人などいません。

3年生は、進路に向けて、面接を受ける人もいます。皆さん全員が、これから将来に向けて、アルバイトや就職試験、その他、様々な場面で面接を受ける機会があります。そこでは必ず「あなたの長所は何ですか？」と聞かれます。この3ヶ月半を振り返り、新たに発見した、または改めて確信した自分の良いところを頭に浮かべてください。誰かと比べる必要はありません。皆さん自身の中で、「これが自分の良さ」だと言えることが大切です。(このあと、近くの人と自分の良さを伝え合いました。)

もっともっと時間をかけて、自分を見つめれば、いいところはたくさん見つかるはずです。自分のいいところを見つけられる人は、きっと「周囲の人たちのいいところ」にも気づくことができるはずです。

この夏休み、各教科から色々な課題・宿題が出ていると思いますが、私からも宿題を出します。

4月からこれまでとは違う生活の中で、これまでとは違う自分の良さをたくさん発見してください。これが私からの大切な宿題です。提出日は9月1日の朝、新たな自分の良さを見つけた自信に満ちた表情で、元気に登校してきてください。

先生方と生徒の皆さんが44日間で一歩も二歩も成長した姿で再会できることを期待しています。

校長もつぶやき・・・

今回は夏休み前特別号なので、教頭先生に負けず、私もつぶやいてみようかと・・・。

子どもの頃(半世紀ほど昔なので、生徒たちには「?」かもしれません)、特に好きだった

わけではないですが、毎週テレビで放送されていた「ムーミン」を観ていた記憶があります。子どもながらに、他のアニメとは違う「何か」を感じていました。

最近ある書籍を読み、改めて登場人物(?)のセリフに人生に関する「名言」が多いことに気づきました。

私の「推し」は『スナフキン』ですが、今回は「夏」にも絡めて『リトルミイ』の名言を一つ紹介します。

ひま、やることがない。なんて間抜けなセリフなこと。春は花を見て、夏は太陽を浴びて、秋は落ち葉を踏んで、冬は静かに春を待つ。やることがないんじゃないわ。やることをわかってないのよ。

皆さんは、この夏、やることはありますか？私は、やることやりたいことがたくさんありすぎて、ボーっとする暇もないかもしれません！皆さんにとって素敵な夏休みになりますように・・・。



ホノルルとの姉妹都市交流に係る取組が進んでいます！

6月号で紹介した、3年生の英語の授業における“ホノルルプロジェクト”の取組が進んでいます。COCOOでもお知らせしましたが、先日、市のホームページでも紹介されました。

11年前の茅ヶ崎市とホノルル市郡との姉妹都市締結以来、両市の懸け橋としてご活躍している特命大使の平田梨花氏をお招きし、特別授業第2弾を行いました。また、生徒会本部役員による朝の挨拶キャンペーンも、“台中アロハデー”の水曜日には、本部役員の「私たちもアロハデーを盛り上げたい！」という熱い思いで、「アロハ〜！」（平田氏によるとハワイでは「アロ〜ハ！」だそうです。）の挨拶を続けています。この日はタウンニュースの取材も入りましたので、近々記事になるかもしれません。

私自身が両市の姉妹都市交流の教育分野での交流に関わってきたこともあり、ホノルルの姉妹都市である本市の特色を学校教育に取り入れられない手はないと考え、本校でも昨年度始まった「台中アロハデー」から、様々な取組を進めています。これらの取組から、台中生の視野が広がり、ホノルルだけではなく、海外の文化などに興味をもつとともに、茅ヶ崎市や日本の良さを再発見し、実感することで、国際感覚が磨かれていくことを期待しています。さらに、これがきっかけで、将来、世界で活躍する、または平田氏のように世界と茅ヶ崎市や日本との懸け橋となるような台中卒業生が生まれてほしいと願っています。



当日の授業の様子等の写真が入ります。

今回の3年生の取組の様子は1, 2年生のフロアにも掲示しています。1, 2年生からは「私たちもやりたい！」との声も。この取組が引き継がれ、ホノルルのある学校と「姉妹校」の関係までいくといいなと夢見ています・・・。

教頭先生のつぶやき・・・

2週間ほど前になりますが、本校で5年以上勤めている学校業務員（学校全般の清掃や文書整理等、多岐にわたってお仕事をしてくださっている方）から、「台中に来てからずいぶん経ちますが、初めてです。生徒から『いつもありがとうございます。』と感謝の言葉をもらったのは。うれしくなって・・・。」という話を笑顔いっぱいしてくれました。自分たちのために色々なことをしてくれていることに感謝し、その気持ちを素直に伝えることができる台中生の素敵な一面を知ることができてうれしくなりました。学校業務員の方にとっても、生徒や学校のために行っていたことを、生徒から直接感謝の気持ちを伝えてもらってうれしかったと思います。もっともっと互いに感謝の気持ちを伝え合うことができる学校になっていけると素敵ですね！